

平成29年度 経営発達支援事業 モニタリング検討委員会議事録

1. 評価機関名 音更町商工会 モニタリング検討委員会
2. 開催日時 平成30年3月22日(木) 13時30分～14時35分
3. 開催場所 プロSPA6 2階ホール
4. 出席者名
 - (1) 外部有識者
 - 深谷 邦彦 音更町経済部商工観光課 商工労政係長
 - 太田 惣一郎 日本政策金融公庫帯広支店 国民生活事業統括
 - 津久井 寛 帯広大谷短期大学地域教養学科 教授
 - 木野村 英明 木野村英明法律事務所 弁護士
 - 本庄 雅人 本庄雅人税理士事務所 税理士
 - 岩田 英来 株式会社設計集団 代表取締役
 - 亀田 裕樹 北海道商工会連合会 十勝支所主任(支所長代理)
 - (2) 音更町商工会
 - 吉本 隆嗣 会長
 - 山本 英明 副会長・モニタリング検討委員会委員長
 - 細海 英隆 理事・総務広報委員長
 - 坂井 寛明 事務局長
 - 角谷 稔 経営指導員
 - 畔木 巧 経営指導員
 - 上野 俊介 補助員

5. 議事経過の要領及びその結果

定刻となり、事務局の坂井事務局長が開会を宣し、吉本会長が開会挨拶を行った後、山本委員長が議長となり議事に入った。

(1) 平成29年度経営発達支援事業の実施状況報告及び事業評価について

山本議長より事務局に対して説明を求め、畔木経営指導員が経営発達支援事業の実施における事業評価の趣旨を説明し、資料3の事業評価シートに基づき下記の通り説明を行った。

I 地域の経済動向調査に関すること【指針③】【自己評価：未実施】

- ①統計資料や国勢調査による人口動向等の調査分析
- ②経済センサスや統計資料等による業種の動向調査
- ③地域内事業所の経営内容調査

【実施内容】 未実施

【実施効果】 平成28年度に実施済のため、29年度以降は実施計画なし

【実施状況】 目標数値：— 実績数値：—

Ⅱ 経営状況の分析に関すること【指針①】【自己評価：A】

① 小規模事業者の多面的な経営分析

【実施内容】 小規模事業者の販売促進や金融斡旋に伴う事業計画策定に活用するために、財務状況等の経営分析を実施しました。

【実施効果】 3会計期間の経営指標による経営分析の結果を小規模事業者に提供することにより、財務状況における自社の現状と課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【実施状況】 目標数値：5件 実績数値：12件

② 巡回訪問による経営状況の把握

【実施内容】 巡回による経営状況の確認を行い、経営課題の改善に向けた専門家の派遣支援や各種施策等の利用による支援を実施しました。

【実施効果】 専門家派遣支援の実施により課題解決に向けた方向性が明確化され経営改善が図れた。また、各種施策等の利用によって経営課題が解決し、来客数の増加により売上・利益の向上が図れました。

【実施状況】 目標数値：10件 実績数値：19件

③ 経営課題の見える化に対する取組

【実施内容】 経営分析の客観的なデータ等を小規模事業者に示し、事業者自らが自社の経営状況や経営課題について把握した。

【実施効果】 客観的なデータによる経営分析が行われたことにより、事業者自身が自社の現状と課題を把握でき、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【実施状況】 目標数値：10件 実績数値：12件

④ タブレットを活用した簡易財務分析

【実施内容】 未実施

【実施効果】 計画当初はタブレットを活用した簡易財務分析を予定していましたが、実際に小規模事業者に対して説明する際には複数期間での本格的な経営分析の方がわかりやすく結果も把握しやすいため、今後においてもタブレットは使用せずに、本格的な経営分析の実施により経営課題の解決を図っていくこととしています。

【実施状況】 目標数値：5件 実績数値：—

⑤ 専門家派遣等による企業支援

【実施内容】 新たな事業展開に向けた企業支援や販路開拓、事業承継等の専門的な支援において、専門家の派遣支援と専門家による個別相談会を実施しました。

【実施効果】 専門家の派遣支援及び個別相談会の開催により、今後の持続的発展に向けた事業展開が明確化され、事業計画策定の重要な指針となりました。

【実施状況】 目標数値：10件 実績数値：26件

Ⅲ事業計画策定支援に関すること【指針②】【自己評価：A】

①持続的発展支援

【実施内容】 販路開拓等に向けた事業計画の策定において、事業者の思いやアイデア等に加えて伴走型の助言を行い、持続的発展のための事業計画策定支援を実施しました。

【実施効果】 事業者の思いやアイデア等に対しての客観的な意見や助言により、事業計画内容のブラッシュアップが図れました。

【実施状況】 目標数値：25件 実績数値：27件

②セミナー等の開催

【実施内容】 小規模事業者の販路開拓に向けた事業計画策定セミナー及び個別相談会を開催しました。

【実施効果】 セミナー・個別相談会の参加者のうち、10名の事業者は販路開拓に向けた事業計画書を作成することになりました。また、今後においても、4名の事業者が事業計画の策定を行う見込みとなっております。

【実施状況】 目標数値：5回 実績数値：4回

③支援施策の活用支援

【実施内容】 「小規模事業者持続化補助金」や音更町の「空き店舗活用事業補助金」の申請に伴う事業計画策定支援や手続き方法等の説明支援を実施しました。

【実施効果】 申請手続きの流れを理解いただき、事業計画内容のブラッシュアップが図れました。

【実施状況】 目標数値：15件 実績数値：20件

Ⅳ事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】【自己評価：A】

①PDCAサイクルの確立支援

- 【実施内容】 事業計画内容と実際の経営状況を比較検討し、今後に向けた対応策についての助言指導を実施しました。
- 【実施効果】 経営状況の比較検討により経営課題が明確化され、今後の対応について共通の認識を持つことができました。
- 【実施状況】 目標数値：15件 実績数値：16件

②事業計画実施に伴う金融支援

- 【実施内容】 日本政策金融公庫のマル経資金や音更町・北海道の各融資制度の斡旋及び情報提供による金融支援を実施しました。
- 【実施効果】 各種金融制度の斡旋・情報提供により円滑な資金繰りが図れました。
- 【実施状況】 目標数値：120件 実績数値：101件

③継続的なフォローアップの実施

- 【実施内容】 創業や販路開拓に向けた事業計画の策定事業者に対して、巡回及び窓口での状況確認とアドバイスを行い、事業計画の実施に向けた伴走型の支援を実施しました。
- 【実施効果】 状況確認と適切なアドバイスを行ったことにより、経営状況の情報共有が図れ、持続的発展に向けた改善策の提案ができました。
- 【実施状況】 目標数値：100回 実績数値：103回

④創業者の認知度向上支援

- 【実施内容】 広報誌「商工おとふけ」での記事掲載や会員交流事業への参加推進により、新規創業者を含む新会員の認知度が向上しました。
- 【実施効果】 認知度の向上により、今後の事業における取引機会の拡大につながることを期待できます。
- 【実施状況】 目標数値：5回 実績数値：7回

V 需要動向調査に関すること【指針③】【自己評価：C】

①消費者ニーズの把握

- 【実施内容】 未実施
- 【実施効果】 平成29年度の補助事業で不採択となったため実施できませんでした。
- 【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：—

②市場環境の調査分析

【実施内容】未実施

【実施効果】平成29年度の補助事業で不採択となったため実施できませんでした。

【実施状況】目標数値：1回 実績数値：—

③イベント等でのニーズ調査

【実施内容】メロディーラインまつりの開催時において、町民や観光客のニーズを把握するために、来場者に対するアンケート調査を実施しました。

【実施効果】調査した消費者ニーズの情報を今後提供する商品や商品開発等のためのツールとして活用が図れます。

【実施状況】目標数値：3回 実績数値：1回

④小規模事業者の経営力向上への取組

【実施内容】イベント開催時に行ったアンケート調査の結果を小規模事業者に対して情報提供いたしました。

【実施効果】アンケート結果の情報提供により、今後の商品開発や販売促進に向けた取組みにつながることを期待できます。

【実施状況】目標数値：2回 実績数値：1回

VI新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】【自己評価：C】

①即売会開催による販売促進

【実施内容】メロディーラインカフェ及びメロディーラインまつりの開催時において、販売促進のための即売会を開催しました。

【実施効果】即売会等の開催により、消費者や観光客に対して広く商品を紹介することができたため、店舗の認知度向上が図れて各個店への来店機会の増加につながりました。

【実施状況】目標数値：4回 実績数値：3回

②ITツールを活用した販売促進

【実施内容】未実施

【実施効果】平成29年度の補助事業で不採択となったため実施できませんでした。

【実施状況】目標数値：5件 実績数値：—

③展示会・商談会への出展支援

【実施内容】 未実施

【実施効果】 平成29年度の補助事業で不採択となったため実施できませんでした。

【実施状況】 目標数値：4件 実績数値：—

④飲食店への販売支援

【実施内容】 飲食店をホームページに掲載しての販売支援とラーメン店が一同に集まった「音更ら～麺村」の開催により、各店舗のPRを行って、新規来店客の獲得に向けた取組みを実施しました。

【実施効果】 各店舗の周知拡大が図れたことにより、実施後には新規のお客様の来店数が増加し、売上の向上につながりました。

【実施状況】 目標数値：50件 実績数値：54件

VII地域経済の活性化に資する取組【自己評価：C】

①メロディーラインカフェの開催

【実施内容】 農業者と飲食業・宿泊業・製造業・小売業者が連携を図り、地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を消費者や観光客に対して提供しました。

【実施効果】 地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を提供し、「食べる、遊ぶ、体験する、観る、泊まる」を連動させることにより、各個店の新たな利用客の拡大が図られ売上の増加につながりました。

【実施状況】 目標数値：5回 実績数値：2回

②音楽フェスタの開催

【実施内容】 十勝川温泉の観光拠点である「ガーデンスパ十勝川温泉」で、「音更ら～麺村」の開催に合わせて音楽イベントを実施しました。

【実施効果】 「音」をキーワードにした地域イベントの開催によって、十勝川温泉地区の消費拡大が図れて、売上の増加につながりました。

【実施状況】 目標数値：2回 実績数値：1回

③仕事と子育ての両立支援事業の推進

【実施内容】 未実施

【実施効果】 福利厚生リサーチ委員会の中で検討したが、保育事業を実施する会員事業所も増えてきており、商工会が実施することにより民業圧迫の恐れも出てきたため、時期尚早として当面は実施しないことになった。

【実施状況】 目標数値：— 実績数値：—

VIII他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 【自己評価：A】

①関係機関との情報交換

【実施内容】 十勝管内経営指導員研修会（春季・冬季）での全体会議や日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会、懇談会での情報交換を行いました。また、町内金融機関との金融懇談会や中小企業団体中央会、中小企業基盤整備機構、派遣税理士との情報交換を実施しました。

【実施効果】 他の支援機関の取り組み等を情報交換することにより、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【実施状況】 目標数値：8回 実績数値：18回

IX経営指導員等の資質向上等に関すること 【自己評価：A】

①研修等への参加

【実施内容】 経営指導員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、事業承継・廃業支援の手法や経営改善支援の手法について資質向上を図るとともに、十勝管内経営指導員研修会や消費税転嫁対策指導員研修会の出席により研鑽を図りました。また、北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウの習得が図れました。補助員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、新規創業・開業支援の手法について資質向上を図りました。記帳専任職員は、北海道商工会連合会の専門研修会及び全道ブロック別商工会研修会や情報化支援システム研修会を受講し、資質の向上を図りました。

【実施効果】 研修会等への参加により、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【実施状況】 目標数値：11回 実績数値：20回

②職員会議の実施

【実施内容】 担当業務や支援内容等の情報共有を図るとともに、今後の業務予定等の確認を行いました。

【実施効果】 職員同士で業務内容のチェックができ、間違いや対応忘れ

などの未然防止につながっています。

【実施状況】 目標数値：12回 実績数値：14回

③ 専門家派遣事業への同行

【実施内容】 専門家の派遣支援に同行し、支援の現場に立ち会うことで資質の向上が図れました。

【実施効果】 専門的な支援内容等における指導や助言方法を間近で見聞することにより、今後の支援ノウハウの向上が図れました。

【実施状況】 目標数値：5回 実績数値：4回

X 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること【自己評価：A】

① モニタリング検討委員会の開催

【実施内容】 経営発達支援計画の説明を行い、今年度の実施状況と実績報告により、検討委員より評価・見直しについての提言をいただき、PDCAの取組を実施しました。

【実施効果】 今年度の取組における評価や検証の方法について提言をいただき、今後の事業実施における手法や課題が明確になりました。

【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：1回

山本議長がこの説明を受けて、今回取り組んだ事業及び事業評価について、出席委員に対し意見等を求めた。

津久井寛 — 計画を立て、それぞれの事業を何回行なうなどとしている点は良いと思うが、その先の数値がどうなったのかが今後は必要である。また、自己評価がCなどの未達の事業については、もっと具体的に明記していく必要がある旨の発言があった。

山本議長が出席者に対して他に意見等がないかを諮ったところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

(2) 平成30年度経営発達支援事業の実施について

山本議長は、平成30年度経営発達支援計画における事業の実施について事務局に説明を求め、畔木経営指導員が平成30年度伴走型小規模事業

者支援推進事業を活用した経営発達支援事業の実施について、資料4の伴走型小規模事業者支援推進事業(事業計画書)に基づき説明を行った。

山本議長はその説明を受けて、計画内容について出席者に対し意見等を求めた。

- 太田惣一郎 — 創業セミナーの実施にあたっては、公庫も周知・PRで協力していきたいと思うので、是非連携してやっていきたいと思っている。
- 深谷邦彦 — 創業セミナーでは空き店舗活用事業補助金の説明等で連携・協力することは可能である。今後においては、新しいニーズを捉えた事業を町としてもやっていきたいと思うので、様々な意見等を頂きたいと思っている。
- 木野村英明 — 事業を行う際には、会員外の事業所にも積極的に周知していくと良い。
- 岩田英来 — 即売会(音更ら～麺村)の開催後には、町内の各ラーメン店でも「音更ら～麺」を販売した方が良いと思う。
- 角谷指導員 — 即売会開催後には「音更ら～麺」を各店で販売し、各店の売上増加を図っていくことにしている。
- 岩田英来 — 音更町は帯広市までの間に12～13件のラーメン店があるので、ぜひ販売促進のために推進して欲しい。
- 細海英隆 — 即売会(音更ら～麺村)の開催に際しては、お客様を待たせないための対応を検討して欲しいと思う。
- 本庄雅人 — パンフレットの配布については、町内以外にも置いてもらった方が良いと思う。特に帯広駅や帯広空港など、観光客が多く集まる場所などに配布すると良いと思う。
- 亀田裕樹 — 伴走型小規模事業者支援推進事業はもうすぐ公募が開始されると思う。即売会参加企業への効果検証は必ず必要であるので、実施後には必ず確認を行うようにしてほしい。
- 吉本隆嗣 — 今年度は補助事業に採択されなかったが、次年度に向けては計画内容を再度精査して、申請に向けて対応していきたいと思う。

山本議長は、出席者に対してその他に意見等がないか諮ったところ、特に発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

すべての議事が終了し、山本議長がモニタリング検討委員会を終了する旨を述べ、14時35分に閉会した。